

令和6年度多重債務問題に関する研修の実施結果について

資料4

◆概要

○ 目的

- 各種相談窓口の新任職員に対し、多重債務問題に係る基礎的な知識や、関係施策の動向等について、周知を図る。
- 窓口業務の経験者に対し、具体的な相談事例を基に解決策を探る事例検討を通じて、対応力の向上を図る。

○ 開催日時

- 新任職員向け(オンライン形式) 【第1回】令和6年6月10日(月) 【第2回】令和6年12月9日(月)
- 経験者向け(集合形式) 【第1回】令和6年6月17日(月) 【第2回】令和7年2月27日(木)

○ 参加者

所属	東京都 (主税、福祉、保健医療等)	区市町村 (税務、消費生活、困窮等)	社会福祉協議会	その他 (国、NPO法人)	計
新任向け(第1回)	13	73	38	13	137
新任向け(第2回)	8	39	15	4	66
経験者向け(第1回)	13	41	13	2	69
経験者向け(第2回)	8	38	7	5	58
合計	42	191	73	24	330

○ 研修内容

【新任職員向け】

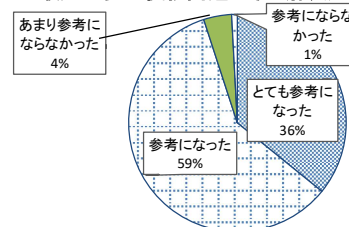
「最近の多重債務問題とその解決方法」(第1回、第2回:信和法律事務所 木本 茂樹 弁護士)
 「東京都における多重債務問題への対応」(地域福祉課、消費生活総合センター、NPO法人メンタルケア協議会 相談員)

【経験者向け】

「最近の多重債務問題の状況」
 (第1回:宮村法律事務所 宮村 純子 弁護士
 第2回:せたがや市民法律事務所 三上 理 弁護士)
 「法テラスの事業紹介」(日本司法支援センター東京地方事務所)
 「多重債務相談への対応について」(一般社団法人生活サポート基金 相談員)

◆アンケート結果(新任職員向け第1・2回)(回答:120名・回答率59.1%)

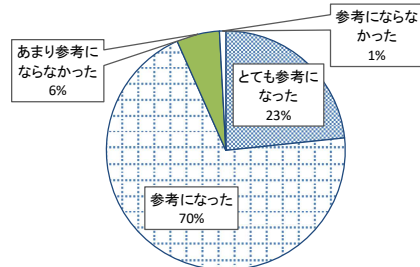
1 最近の多重債務問題とその解決方法



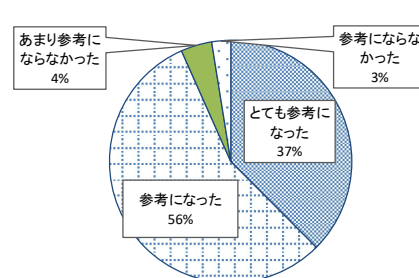
【意見・感想】

- 自己破産・任意整理・個人再生の違いや、それぞれのメリット・デメリットを知ること、債務者にとって生活を立て直すための合理的な手段に繋がることがわかった。
- 債務者側の債務への危機認識の乏しさを知り、支援者はその理解を深めることが早期発見や再発防止のための働きかけに繋がることが学んだ。

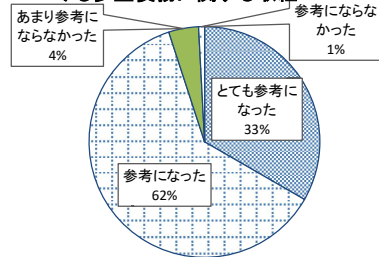
2-1 多重債務者生活再生事業の概要



2-3 東京都の自殺総合対策について



2-2 東京都消費生活総合センターにおける多重債務に関する取組



【意見・感想】

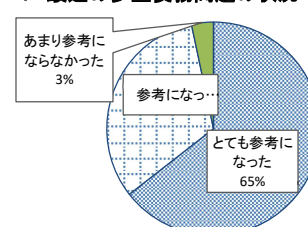
・生活困窮者自立支援制度がワンストップで相談を行うと講義いただき、まずは窓口につなぎ、相談してみようと思っただけのようにする支援の大切さを再度確認することができた。

・多重債務相談「東京モデル」では適切な専門相談窓口に繋げることができると知り、今後は活用したいと思った。

・相談者に自殺のリスクがある場合、「東京都こころのちのサポートネット」に相談員から相談する選択肢があることを初めて知った。

◆アンケート結果(経験者向け第1・2回)(回答:90名・回答率75.6%)

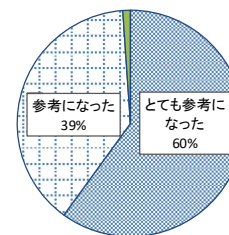
1 最近の多重債務問題の状況



【意見・感想】

- 多重債務を抱えた方という、浪費やギャンブルなどが浮かぶが、誰でもなりうる問題であると改めて認識し、相談者と接して行きたいと思う。
- 各債務整理のメリット・デメリットを整理して理解することができた。
- 銀行ローンやキャッシング返済などで簡単に借金ができてしまうこと、本人が借金をしていることに気付かないケースが増えていることが分かった。

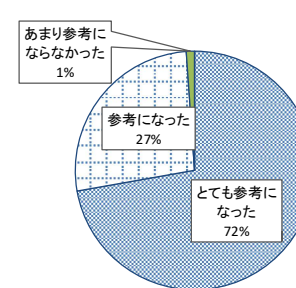
2 法テラスの事業紹介



【意見・感想】

- 法テラスがとても身近であることがよくわかった。多重債務で貸付ができない相談者に、今の状況で相談できる窓口は法テラスであると、しっかりお伝えできると思った。
- 法テラスの民事法律扶助業務の利用条件(具体的な収入額)や債務整理にかかる費用の目安などを知ることができて、参考になった。

3 多重債務相談への対応について



【意見・感想】

- 債務整理の種類(任意整理、個人再生、自己破産)と、返済金の計算方法について、大まかなイメージを持つことができた。
- 債務整理の演習で実際に計算してみることで、どの解決方法が適しているかを判断するイメージを掴むことができた。
- 具体的な計算を行うことによって、困窮者へどのようにアプローチしていくかの道筋が見えてよかった。